

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

令和4年4月19日(火)

3. 調査の対象

泉佐野市立第三中学校 第3学年、全生徒

実施生徒数(125人)

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数・数学及び理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの教科に関し、以下のとおりとする。

①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

ウ 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

(3) 学校の取組みに関する調査

調査対象の児童生徒が在籍する学校を対象に、学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施する。

※平成29年度より、文部科学省から示される都道府県の平均正答率及び市町村の平均正答率は、整数となっております。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は全国・大阪府と比べて下回っており、分布状況を比べてみても上位層は少なく、中間層から下位層にかけて多くなっている。
- ・全国と比べると、『記述式』の問題が特に正答率が低く、また無解答率も高い傾向にある。

平均正答率（本校 57／泉佐野市 63／大阪府 67／全国 69.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語	特徴がみられた設問
<p>【言葉の特徴や使い方に関する事項】</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項に全体的に課題があるが、1つの問いは全国の平均を上回ることができた。</p> <p>1三 スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。 (20.8/51.8)</p> <p>2一 意見文の書き下しの一部について、文末の表現を直す意図として適切なものを選択する。 (68.0/82.3)</p> <p>2二② 漢字を書く（よろこんで）。 (66.4/80.5)</p> <p>3一 「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する。 (53.6/52.5)</p> <p>3二 「途方に暮れた」の意味として適切なものを選択する。 (71.2/84.0)</p> <p>【情報の扱い方に関する事項】</p> <p>○情報の扱い方に関する事項に課題がある。</p> <p>2三 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。 (27.2/46.5)</p> <p>【我が国の言語文化に関する事項】</p> <p>◇我が国の言語文化に関する事項について、全体的には課題があるが、概ねできている問題もある。</p> <p>4一 行書の特徴を踏まえた書き方について説明したとして適切なものを選択する。 (31.2/39.4)</p>	<p>4二 最初に書いた文字の漢字のバランスについて説明したものとして適切なものを選択する。 (83.2/90.1)</p> <p>4三 書き直した文字の「と」の書き方について説明したものとして適切なものを選択する。 (72.0/81.1)</p> <p>【話すこと・聞くこと】</p> <p>○話すこと・聞くことに課題がある。</p> <p>1一 スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す。 (67.2/74.7)</p> <p>1二 はなしの進め方のよさを具体的に説明したものとして適切なものを選択する。 (52.0/65.1)</p> <p>【書くこと】</p> <p>○書くことに課題がある。</p> <p>2三 農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える。 (27.2/46.5)</p> <p>【読むこと】</p> <p>○読むことに課題がある。</p> <p>3三 話の展開に沿って「おれ」の行動や心情を並びかえる。 (53.6/62.0)</p> <p>3四 「おれ」は何を「なるほど」と思ったのかについて、話の展開を取り上げて書く (56.0/73.8)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強は好きですか。	36.4	61.9	○	25.5
国語の勉強は大切だと思いますか。	84.2	93.2	◇	9
国語の授業の内容はよく分かりますか。	81.5	91.2	◇	9.7
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	73.2	89.7	○	16.5

○「国語の勉強は好きだ」と感じている生徒の割合が昨年度比べると大きく減少しており、全国との差も大きく開いている。「そう思う」と答えている生徒の割合は昨年度と比べるとあまり差はないが、「とてもそう思う」と答えている生徒の割合が大きく減少している。

○「国語の勉強は大切だ」と感じている生徒の割合は昨年度と比べると少し減少しており、全国との差も開いている。「とてもそう思う」「そう思う」と答えた生徒の割合が両方とも減少している。

○「国語の授業の内容はよく分かりますか」と感じている生徒の割合は昨年度比べると大きく上昇している。「よく分かる」と答えた生徒割合は全国と比べると差はあるが、「分かる」と答えた生徒は全国を上回っている。

○「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」と感じている生徒の割合は、昨年度比べると減少している。「とてもそう思う」と答えた生徒の割合は全国と比べて差が大きいですが、「そう思う」と答えた生徒の割合は全国を上回っている。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は、問題番号1及び7(2)以外、全国平均を大きく下回る。また分布状況全国と比べて、上位層は少なく、中間層から下位層にかけて多くなっている。
- ・全体的に全国と比べて「記述式」の正答率が低いことが目立つ。また全体的に無回答率が高くなっている。

平均正答率（本校 39／泉佐野市 45／大阪府 51／全国 51.4）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

数学	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○簡単な連立二元一次方程式を解くことに課題がある。</p> <p>2 連立二元一次方程式 $\begin{cases} 2x+y=1 \\ y=x+4 \end{cases}$ を解く。 (57.9/74.5)</p> <p>○問題場面における考察の対象を明確に捉えることに課題がある。</p> <p>6 (1) 同じ偶数の和である $2n+2n=4n$ について、nが9のときどのような計算を表しているかを書く。 (57.1/73.8)</p> <p>○目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>6 (2) 差が4である2つの偶数の和が、4の倍数になることの説明を完成する。 (25.4/48.7)</p> <p>○結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見出し、説明することに課題がある。</p> <p>6 (3) ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する。 (19.0/37.6)</p> <p>【図形】</p> <p>○判例の意味を理解することに課題がある。</p> <p>3 ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ。 (36.5/44.9)</p> <p>○証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解することに課題がある。</p> <p>9 (1) 照明で用いられている三角形の合同条件を書く。 (54.0/73.2)</p> <p>○筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。</p> <p>9 (2) $\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が 30° になる理由を示し、$\angle EBF$ の大きさがいつでも 60° になることの説明を完成する。 (4.8/12.5)</p>	<p>【関数】</p> <p>○一次関数の変化の割合の意味を理解することに課題がある。</p> <p>4 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ。 (23.0/37.9)</p> <p>○与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることに課題がある。</p> <p>8 (1) 与えられたグラフにおいて、点Eの座標を書く。 (43.7/54.6)</p> <p>○事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。</p> <p>8 (2) 目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する。 (24.6/38.4)</p> <p>【関数】</p> <p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の意味を理解することに課題がある。</p> <p>5 容器のふたを投げたときに下向きになる確率を選ぶ。 (66.7/83.3)</p> <p>○データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。</p> <p>7 (1) コマ回し大会で使用するコマをヒストグラムの特徴の基に選び、選んだ理由を説明する。 (33.3/44.0)</p> <p>○箱ひげ図から分布の特徴を読み取ることに課題がある。</p> <p>7 (2) 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ。 (42.9/44.1)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか。	57.6	58.1		0.5
数学の勉強は大切だと思いますか。	81.6	86.5		4.9
数学の授業の内容はよく分かりますか。	73.6	76.2		2.6
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	72.0	76.5		4.5
数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	42.4	47.3		4.9
数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。	65.4	75.2	◇	9.8
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	68.8	70.2		1.4
数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	74.4	79.6	◇	5.2

○数学に関する質問の肯定的な意見は、全国と比べると少し低い値となっている。

○「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」の質問に対して、肯定的な意見を持つ生徒の割合は全国よりも 9.8%低いということは、決められたことはできるが、既習事項を活用して問題に解くなどの応用を苦手に行っている生徒が多い。

○「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」の質問に対して、肯定的な意見を持つ生徒の割合が全国よりも 5.2%低いということは、意味をしっかりと理解して問題を解くことが少なく、決められてことをやるだけの生徒が多い傾向にある。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1. 全体の傾向

- ・平均正答率は大阪府・全国と比べると大きく下回っており、分布状況を見ても上位層はほとんどおらず、中間層から下位層にかけて割合が多くなっている。
- ・全国と比べると正答率は低くなっているが、無解答率の割合はそこまでの差はないが、他教科と同様、記述式の問題に関しては無解答率の差は全国と大きい。

平均正答率（本校 37／泉佐野市 42／大阪府 47／全国 49.3）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

理科	特徴がみられた設問
<p>【「エネルギー」を柱とする領域】 ◇エネルギーを柱とする領域に課題が見られる。</p> <p>1 (1) 日常生活の中で、物体が静電気を帯びる現象を選択する。 (33.3/44.2)</p> <p>5 (2) 「ばねが縮む長さは、加えるチカラの大きさに比例するか」という課題に正対した考察を行うために、適切に処理されたグラフを選択する。 (30.2/45.0)</p> <p>5 (3) 考察の妥当性を高めるために、測定範囲と刻み幅をどのように調整して測定点を増やすかを説明する。 (19.0/43.3)</p> <p>【「粒子」を柱とする領域】 ○粒子を柱とする領域に課題が見られる。</p> <p>7 (1) 液体が気体に状態変化することによって温度が下がる身近な現象を選択する。 (20.6/35.9)</p> <p>7 (2) 吸湿発熱繊維に水蒸気を多く含む空気を通した一つの実験だけで行った考察について、課題に正対しているかどうかを検討し、必要な実験を指摘する。 (36.5/53.4)</p> <p>【「生命」を柱とする領域】 ○生命を柱とする領域に課題が見られる。</p> <p>4 (1) ダイオウグソクムシとダンゴムシのあしの様子が異なることについて、生活場所や移動の仕方と関連づけ、その理由を説明する。 (59.5/4.5)</p>	<p>4 (2) 脊椎動物には骨格のつくりに通点があることから、カラスの関節Aに対応するヒトとカエルのあしの関節を選択する。 (50.0/65.6)</p> <p>8 (1) アリが視覚による情報を基に行列をつくるかを調べた実験の結果を基に、課題に正対した考察を記述する。 (30.2/55.2)</p> <p>8 (2) 予想や仮説と異なる実験の結果が出る場合、その意味することや考えられる可能性について考え、実験の操作や条件制御の不備の可能性を指摘する。 (32.5/55.1)</p> <p>8 (3) 生物Xが昆虫類かどうかアリと比較しながら、観点と基準を明確にして判断する。 (27.8/39.2)</p> <p>【「地球」を柱とする領域】 ◇地球を柱とする領域に課題がある。</p> <p>6 (1) 玄武岩の露頭で化石の観察が可能か判断し、その理由を選択する。 (35.7/48.0)</p> <p>6 (2) 陸上のB地点で古生代のサンゴの化石が観察されることについて、垂直方向の変動だけで推論した他者の考察を検討し、水平方向の変動も踏まえた推論が必要であることを指摘する。 (46.8/60.3)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか。	62.9	66.4		3.5
理科の勉強は大切だと思いますか。	73.9	76.8		2.9
理科の授業の内容はよくわかりますか。	74.6	75.2		0.6
理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。	48.9	52.7		3.8
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。	57.0	61.5		4.5
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。	23.1	22.1		1.0
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。	57.5	64.5	◇	7.0
理科の授業で、観察や実験の結果をもとに観察していますか。	71.3	78.9	◇	7.6
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか。	61.2	68.1	◇	6.9

○「理科の勉強は好きですか」「理科の勉強は大切だと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒の割合は全国と比べても差があまりなかった。

○「将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思いますか」の質問に対して、肯定的な回答をしている生徒の割合は全国を上回る結果となった。

○「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに観察していますか」の質問が、全国と比べると一番大きな差が出ていた。

○「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか」「理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか」の質問の答えからもわかるように肯定的な意見が全国と比べると低くなっているのは、授業の中での実験が少ない傾向になっているからだと予想される。

令和4年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【自分自身について】	本校の回答を全国と比べて見てみると、自己肯定感が低いことが見て取れる。	自分には、よいところがあると思いますか。 本校：65.6/全国78.5
【自分自身について】	本校の状況を見ると、認められている生徒の割合が昨年度よりも高くなっているのは、教職員と生徒の関係性が良いことの表れだと感じている。しかし、良いところを認めてもらっているが、それが自己肯定感にはつながっていないのが課題と感じる。	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。 本校：81.6/全国：86.6
【自分自身について】	本校の状況を見ると、肯定的意見を持っている生徒の割合は全国よりも高く、前向きに取り組んでいる生徒の割合も多いのではないかと感じる。	学校に行くのは楽しいと思いますか。 本校：79.2/全国：76.9

本校の取組

◎これまでの取組

- ・今年度の目標を「聞く力」「話す力」に定め、各授業の中で班活動などの取り組みを進めている。また教員間で情報を共有するために教科部会の充実や各学期相互授業参観などの取り組みを進めている。
- ・ICTの活用を積極的に進めていくために、Googleに研修を依頼し、ICTの活用方法についての研修を実施し、授業の中での活用を進めている。
- ・本校の状況としては「読む」活動が少ないので、電子図書の活用を進めていくための整備を進めている。
- ・担当者が参加した研修などで得た知識や方法などを教職員に周知し、授業の実践などに取り入れてもらっている。
- ・学期に一度生徒に授業アンケートを実施し、今の現状を教職員に周知し、数値の向上を図っていく。

◎これからの取組

- ・教職員間の情報共有や授業実践の参観など日数を増やしていくこと、参加率を高めていくことを目標にしていくこと。
- ・生徒への授業アンケートの結果をしてみると、まだまだICTを活用していますかの質問に対して肯定的意見を持つ生徒の割合が低いので、積極的なICTの活用を進めていきたい。また進めるためにも先生方に情報の発信をしていきたい。
- ・さらなる効果的なICTの活用のために、chromebookの応用編などの研修を進めていきたい。
- ・読書活動を進めていくために、早急に電子図書の導入を進めていきたい。
- ・chromebookの一日持たせきりや持ち帰りに関して前向きに検討していくために、生徒会と連動してルールづくりを進めていきたい。